

ファストフード店に大きなペニス剥
（む）き出しの少年の銅像 いやら
しい姿をされていて・・・ママとそ
れを見た僕は・・・

大きなチェーン店が軒を連ね、小さな店は次々と少なくなっ
ている僕の住む街の昨今（さっこん）。

だけど今もなお老舗として残っている店も少なくない。

その一つが自宅から徒歩20分、車で4、5分の場所にある
スイーツなどをメインにしている洋食店だ。

・・・・・・・・ママとここへ行った時の話。

カフェというにはお腹を膨らませられる主食も多く、そして
テイクアウトサービスなんかもあるのでファストフードと
呼ぶにふさわしい。

しかしここは他のファストフード店のようにチェーン展開
はしておらずれっきとした個人店である。

.....。

.....。

.....僕はリビングで

「んっ！？.....あっ！！」

思い出したようにある店が頭の中に浮かんでママに言った。

「ママッ.....今度あの店に行ってみない！？」

・・・・・・・・昔、パパたちと一緒に行ったあの洋食店。

とってもハンバーグ定食が美味しかった思い出がある。
目玉焼きがどっさりと乗っていてデミグラスソースがほのかに甘い。

・・・・・・・・パパは2年前に他界してしまった。

・・・・・・・・そして弟も不慮の事故で・・・・・・・・。

現在は僕とママとの二人暮らしである。

ママは少し目を細めて言った。

「……んっ！いいかもねっ！じゃあ明日はママ仕事だから、明後日の土曜日はどう？」

ママはとっても嬉しそうな笑顔だった。

ママは現在化粧品店で社員として働いている。

ママは仕事で忙しいので、僕も通学の合間に家事などは手伝

っている。

ママはたまに少し不機嫌そうな顔をしているけれど……。

……僕はシャワーを浴びながら自分の股間を
みる。

「ママをたまには喜ばせたい」

心からそう感じた。

僕は最近いろんなところの成長が著しい。

平均的な勉強の方はあまり好きではないが、主にスポーツに勤しみつつ友達たちと遊ぶ中で背丈は伸び・・・。

先日もママが僕のドアの上枠に当たりそうな僕の身長を見て言った。

「ナユト・・・あなたも立派に大人に成長してきているわね。
カラダのことだけど」

目的のファストフード店までは車で行くことにした。

早速約束した日から二日後、午前中に昼食を食べに向かう。

僕たちは“あること”を覚えていた・・・・・・・・。

約束をした次の日にこんな会話をした。

「あの店って、犬をロープで連れた少年の銅像がなかった??」

ママに僕は頷く。

しっかりと僕も覚えていた。

光景そのものはもちろん幼い頃だったので曖昧ではあったが。

「あったあったっ！！あの銅像の少年って裸だったよね！！確かつっ！！」

「パンツ姿だったっけ??」

なんだかおもしろくなって噴き出す俺たち。

実を言うとあの後も確か中学の頃、同級生たちと部活帰りに打ち上げみたいな感じで食べに行ったことがあった。

それっきりではあったが、そのこともあって記憶はまだ鮮明な方だった。

ママは僕とパパと弟と行った時以来その店へは行ってないらしい。

店へ入る。

駐車場には3、4台の車が停まっていて、僕らの車は僕とママが座った向かい合わせのテーブル席のすぐ正面に停まっている。

僕とママは互いにはっきりと記憶に残っているその銅像があるか確認してみた。

カウンターのすぐ近く、確かトイレの横のところに飾りとして置いてあると記憶していた。

小さな噴水があり、水が石の筒のようなところから流れ出ていた。

(体験版は以上になります。ご読了ありがとうございました)